

受験番号
氏名

\*問題用紙は8ページあります。解答はすべて解答用紙の所定欄に記入してください。  
文字はていねいに書くこと。

一 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

- ① 以前、毎日新聞記者のおぐにあやこ小国綾子さんからこんなエピソードをうかがったことがある。L  
INE株式会社の出前授業に付き添い、中学校を訪問した時のことだそうだ。
- ② 「友だちから言われて最もイヤな言葉は？(1)まじめだね(2)おとなしいね(3)  
天然だね(4)個性的だね(5)マイペースだね」との問いかけに対し、一番多かった回  
答は「(4) 個性的だね」だったという。
- ③ 「まさか！」と耳を疑った彼女に向かって、生徒たちは口々にこう語ったそうだ。
- ④ 「個性的と言われると、自分を否定された気がする」「周囲と違うってことでしょ？ どう  
考えてもマイナスの言葉」「他の言葉は良い意味にも取れるけど、個性的だけは良い意味  
に取れない」「差別的に受け取られるかも」等々――。
- ⑤ 驚かれるかもしれないが、どうやら④の中学生たちだけが特殊というわけでもない  
らしい。
- ⑥ 2016年、日本生産性本部が実施した新入社員「働くこと意識」調査では、昇進し  
たいポストを「社長」と答えた者が過去最低の10・8%、最多は「役職に付きたくない+  
どうでもよい」の20%だった。
- ⑦ 働き方を尋ねた設問では、「人並みで十分」が過去最多の58・3%、「人並み以上」は  
34・2%にすぎなかった。
- ⑧ 考えてみれば、先の中学生たちもすでに高校を卒業して、いまは社会人になっているこ  
とだろう。あるいは大学へ進学した者も、そろそろ社会に出る頃だろう。
- ⑨ もちろん、この世代の人たちに「個性的な人間でありたい」と⑦セツボウする気持ちが  
ないわけではあるまい。どんな人間だろうと自分の存在意義を求めようとするものだ。

- ⑩ ( ① )、その思いをストレートに口に出すと、周囲から自分だけが浮いてしまう。みんなと同じでなければ安心できず、たとえプラスの方向であったとしても自分だけが目立つことは避けたい。
- ⑪ ネットの発達も相まって、若者世代では人間関係の ( A ) が進んでいる――。近年は、そんな指摘もしばしば耳にする。
- ⑫ しかし、実際に彼らに声をかけてみれば、意外と付き合いの良いことに気づかれるだろう。
- ⑬ 統計数理研究所が実施している「日本人の国民性」調査の最新データによると、「上役と仕事以外のつき合いはあった方がよい」と考える者の割合は若年層ほど高く、20代ではじつに70%を占める。
- ⑭ 「家族的な雰囲気のある会社につとめたい」と考える者も同様の傾向を示しており、20代の50%がそう思うと回答している。
- ⑮ ( ② )、彼らのコミュニケーション様式が上の世代と異なっていることには④リュウイしておくべきである。おそらく現在40代から上の世代は、濃密な関係を取り結ぶためには相手のことを総合的に理解しておかなければならないと考えるだろう。
- ⑯ しかし、下の世代は違う。当面の付き合いにとつて必要な情報だけを ( B ) できていれば、それで十分に濃密な関係を築くことができる。いわば⑥全面総括型ではなく、一極集中型のコミュニケーション様式へと変貌している。
- ⑰ このような違いが生じているのは、昨今の日本では人間関係の ( C ) が高まっており、その最前線にいるのが若年層だからである。かつて人間関係が固定的だった時代には、人々は親密な相手と否応なく全人的に付き合いざるをえなかった。
- ⑱ しかし、( C ) が高まってくると、その⑦ゼンテイは崩れ去っていく。各々の局面で付き合い相手を切り替えることが容易なため、⑧その場面で必要とされる情報だけでなく十分に親密な関係が成立しうると感じられるのである。
- ⑲ 上の世代から眺めたとき、若年層の人間関係が ( A ) しているように映るのは、おそらくこの感覚の相違によるところが大きい。総合的な関わり合いを⑨ゼンテイとしていると、部分的につながっている関係はどうしても希薄なものに見えてしまう。
- ⑳ しかし、そもそもアイデンティティが不変不動の一貫したものではなく、場面ごとに切り替わる変幻自在なものになっているとすれば、現在とは違う場面における自分を目前の相手にあえて呈示しないことは、⑩その相手に対してむしろ誠実な態度といえなくもない。そんなものを顕わにされても、相手は戸惑うだけだからである。
- ㉑ ( ③ )、人間関係の ( C ) が高まったという事実は、それだけ制度的な枠組みが拘束力を失っていることを意味する。
- ㉒ 裏を返せば、制度的な枠組みが人間関係を保証してくれる共通の基盤ではなくなり、それだけ⑪関係が不安定になってきたということでもある。

②③ 既存の制度に縛られることなく、付き合う相手を勝手に選べる自由は、自分だけでなく相手も持っている。関係の自由度の高まりは、自分が相手から選んでもらえないかもしれないリスクの高まりとセットなのである。

②④ 冒頭で紹介した⑤「個性的であること」が忌避される理由も、じつはここにある。

②⑤ 「個性的であること」は、組織からの解放を求めるには好都合だが、組織への⑥ホウセツを求めるには不都合である。自分の安定した居場所が揺らぎかねないからである。

②⑥ 今日の若者たちは、かつてのように社会組織によって強制された鬱陶しい人間関係から解放されることを願うのではなく、その拘束力が緩んで（C）が増したがゆえに（D）した人間関係へ安全に⑦ホウセツされることを願っている。

②⑦ （4）、前者が後者へと完全に入れ替わったわけではないが、少なくともその比重は大きく移り変わっている。

②⑧ かつて人間関係が不自由だった時代の若者たちは、強制された関係に縛られない「一匹狼」に人間的な魅力を感じて憧れたものだった。

②⑨ しかし、今日の若者たちは、⑧一人である人間を「ぼっち」と呼んで蔑みの対象とするようになっていく。一人であることは関係からの解放ではなく、むしろ疎外を意味するからである。

②⑩ 既存の社会制度の⑨ソクバクから解放され、自由な関係を築けるようになったのに、それでも一人である者は、誰からも選ばれない人間的魅力を欠いた人物とみなされ、否定的に捉えられてしまう。

②⑪ （5）、人間関係に恵まれているという事実こそが、人間的魅力を示す重要な指標となっている。それを端的に示しているのが「リア充」という言葉である。

②⑫ 一人ぼっちでも充実していることを意味する「ぼっち充」という言葉があるのも事実である。しかし、それも「リア充」な人たちに対する反発という感がぬぐえない。あるいは、「ぼっち」回避の疲弊感からくる反動といえなくもない。

②⑬ かつてと比較すれば、現在の日本は確かに一人でも生活しやすい社会になった。しかし、そうやって人間関係のしがらみから解放され、（E）の高い社会になったからこそ、つねに誰かとつながっていないければ逆に安心できなくなっている。

②⑭ それを欠いた人間は、価値のない人物と周囲から見られはしないかと他者の視線に怯え、また自身でも価値のない人間ではないかと不安におのくようになっていく。その意味で、じつは今日は、皮肉なことに一人で生きていくことがかつて以上に困難な時代なのである。

（出典：土井隆義「いまの若者たちにとって「個性的」とは否定の言葉である」

現代ビジネス編『日本の死角』 講談社現代新書 出題のため、一部改変した部分がある。）

問一 傍線部⑦⑧の漢字と同じ漢字を含むものを、次の語群の1～5の中から、一つ選びなさい。

⑦ セツボウ

1 ボウシを被る。

2 ビタミンがケツボウする。

3 文明のメツボウの危機。

4 タボウを極める。

5 タイボウの初勝利。

⑧ リユウイ

1 リユウキした地形

2 カリユウの飲み薬

3 キョウリユウの化石

4 テイリユウされている船舶

5 イチリユウな選手

⑨ ゼンテイ

1 テイオンの保存が必要だ。

2 電気のテイコウを調べる。

3 課題をテイシュツする。

4 テイデンに備える。

5 ルールをカイテイする。

⑩ ホウセツ

1 雇用継続のホウサクを練る。

2 薬をブンボウに分ける。

3 茶のサホウを学ぶ。

4 バラのようなホウコウを放つ。

5 ホウジンの救出に向かう。

⑪ ソクバク

1 ヤクソクを守る。

2 彼はシュンソクの持ち主だ。

3 販売をソクシンする。

4 コウソク道路を走る。

5 彼らの意外なソクメンを見る。

問二 空欄( ① ) ( ② ) ( ③ ) ( ④ ) ( ⑤ ) に入る最も適切な言葉を、次のア～オの中から、一つずつ選びなさい。

ア ところで

イ 逆にいえば

ウ もっとも

エ もちろん

オ しかし

問三 空欄（A）～（E）に入る最も適切な言葉を、次のア～エの中から、一つ選びなさい。

ア	A 希薄化	B 理解	C 流動性	D 多様化	E 開放度
イ	A 単純化	B 共有	C 固定化	D 安定化	E 理解度
ウ	A 希薄化	B 共有	C 流動性	D 不安定化	E 自由度
エ	A 単純化	B 理解	C 流動性	D 不安定化	E 理解度
オ	A 希薄化	B 共有	C 固定化	D 多様化	E 開放度

問四 次の文章は、本文中のある段落の後ろに入る。どの段落の後ろに入るか。段落①～④の中から、一つ選びなさい。

近年はそんな心性が広がっているように見受けられる。

問五 傍線部④「この中学生たちだけが特殊というわけでもない」とは、どういうことか。当てはまらないものを、次のア～エの中から、一つ選びなさい。

- ア 多くの人にとって「個性的」という言葉は否定的な意味を持っていること。
- イ 人間のだれもが、「個性的」という意味に否定的な意味を持っていること。
- ウ 若年世代とそれより年長の世代では、「個性的」という意味のとらえ方が異なること。
- エ 「個性的」という言葉で自分が目立つことは避けたいと思っていること。

問六 傍線部⑤「全面総括型ではなく、一極集中型のコミュニケーション様式」とあるが、それはどういうことを意味しているか。最も適切なものを、次のア～エの中から、一つ選びなさい。

- ア コミュニケーションの相手について、部分的に知ることも相手について理解することができるといふ考え。
- イ 自分だけでなく、コミュニケーションの相手も、部分的な付き合いで良いと思う考え。
- ウ コミュニケーションの相手だけが、部分的に自分を理解すれば良いという考え。
- エ すべての人が、部分的に自分を理解すれば良いという考え。

問七 傍線部㉔「その場面で必要とされる情報だけで十分に親密な関係が成立しうる」の  
具体例として当てはまらないものを、次のア～エの中から、一つ選びなさい。

- ア 一時的な関係であっても親密な関係ができること。
- イ 当面必要な情報だけで濃密な関係ができること。
- ウ 相手を場面ごとに切り替えることができ、場面ごとの情報で十分なこと。
- エ 相手によって情報を切り替えて呈示すること。

問八 傍線部㉕「その相手に対してむしろ誠実な態度」とあるが、それはどういうことを  
意味しているか。最も適切なものを、ア～エの中から、一つ選びなさい。

- ア 常に相手に対してまじめな振る舞いを続けること。
- イ 誰に対しても一貫した振る舞いをすること。
- ウ 自分よがりな振る舞いをする事。
- エ 場面に応じた振る舞いをする事。

問九 傍線部㉖「関係が不安定になってきた」とは、どのようなことか。具体的説明内容  
として、最も適切なものを、ア～エの中から、一つ選びなさい。

- ア 人間関係を保証する共通の基盤がなくなったこと。
- イ 社会制度が社会状況と一致していないこと。
- ウ 若年層とそれ以外の年層の考えが異なっていること。
- エ 個人のアイデンティティが社会関係と一致しなくなったこと。

問十 傍線部㉗「个性的であること」が忌避される理由」とは、具体的にはどのような理  
由なのか。最も適切なものを、ア～エの中から、一つ選びなさい。

- ア 流動化した社会の中で、自由になりすぎるため。
- イ 自分の居場所が不安定になる可能性があるから。
- ウ 个性的であることは、自分にメリットがないから。
- エ 社会に組み込まれたくないから。

問十一 傍線部㉔「一人でいる人間を『ぼっち』と呼んで蔑みの対象」の説明について、  
適切でないものを、次のア～エの中から、一つ選びなさい。

- ア 一人でいると、魅力のない人間とみなされるから。
- イ 人間的魅力に溢れているという指標になっているから。
- ウ 友達がいなことが、社会から認められていないから。
- エ 誰からも選ばれずに否定されたように感じるから。

問十二 本文の内容に一致するものを、次のア～エの中から、一つ選びなさい。

- ア 人間関係が希薄化したことにより、个性的であることが望まれている。
- イ 人間関係が希薄化しているのは、人間関係の見方が異なっていることに起因している。
- ウ 自由度の高い人間関係だから、「リア充」が否定されるようになった。
- エ 人間は、常に他者の視線を気にするように運命づけられている。

## 二次の問いに答えなさい。

問一 次のことわざ・慣用句の使い方として正しいものには○、間違っているものには×をつけなさい。

- ア 期末試験で合格点を取れるように照準を当てて準備する。
- イ 卒業制作で作った作品は、血と涙の結晶だ。
- ウ リレーの選手として白羽の矢が当たった。
- エ 友人の話は、いつもの的を射ている。
- オ 美味しそうな写真に、食指をそそられる。

問二 次の文章の敬語や表現の使い方として正しいものには○、間違っているものには×をつけなさい。

- ア この電車は、ご利用になれません。
- イ 企画の内容をご説明したいと思えます。
- ウ 降雨が予想されますので、雨具をご持参ください。
- エ 高熱にうなされ、判断がままならない。
- オ 山海の珍味にしたづつみを打つ。

三 次の傍線部のひらがな部分を漢字で、漢字部分をひらがなで書きなさい。

- |   |                            |    |                         |
|---|----------------------------|----|-------------------------|
| 1 | グラフには <u>はんれい</u> をつけ区別する。 | 2  | <u>くじゅう</u> の決断をする。     |
| 3 | 法律を <u>しこう</u> する。         | 4  | 台風の <u>きょうい</u> にさらされる。 |
| 5 | 重要な資料をメールにて <u>んぷ</u> する。  | 6  | <u>濁水</u> が河川を襲う。       |
| 7 | 会場の <u>雰囲気</u> を感じる。       | 8  | 仕事の <u>進捗</u> 状況を報告する。  |
| 9 | 法令を <u>遵守</u> する。          | 10 | 図書資料を <u>閲覧</u> する。     |